

岸高でやってみよう！「課題研究」

■「課題研究」ってなに？

各自の興味や関心に応じて疑問に感じたことや深く追究してみたいことを通じて、各自でテーマを設定し、研究しそれを発表するという内容の取り組みです。大阪府の文理学科では、この「課題研究」が必修となっています。



■課題研究でどのような力が身につくの？

- 研究テーマ設定と研究活動 →思考力・探究力
- 研究成果の発表やまとめ →発信力 がつきます。

大学入試でも有利に！

これらの力は、2020年度からの新大学入試では今以上に求められるようになりますので、頑張っ
て取り組めば **AO入試や推薦入試など、将来の進路選択でも有利になります**。実際に卒業生の先輩の
なかには、**課題研究の成果が志望大学の合格につながった例もあります**（大阪大学・筑波大学など）。

さらに、岸高ではGLHSやSSHの指定により校外外でさまざまな独自のイベントを実施していま
すので、希望に応じてさらに高度な力を身につけられます。

■岸高ではどのように課題研究を進めるの？

それぞれの学年で、主に以下の科目で課題研究に取り組みます。

- 1年…『セレンディピティ』
- 2年…『文理課題研究』
- 3年…『キャリアスタートゼミ』

岸高では、3年間かけて課題研究活動を行います。岸高は、GLHS
およびSSHに指定されていますので、文科系理科系を問わずに充
実した環境のもとで活動できます。研究内容やその成果によっては、
全国規模のコンクールやコンテスト・発表会等に参加できるチャン
スもあります。

【これまでにこんな研究テーマがありました】

- 歌舞伎舞踊にみる恋愛感情の表現方法
- 近未来予想～現代から見る地球の姿～
- アメリカと日本では名付け方にどのような違いがあるのか
- 圧電素子を使ってLEDを光らせよう！
- 本当に守れているのか！？—ハンドソープの殺菌カー
- メジロの亜種や性別は声で識別できる？
- 変形サイコロの形による確率の違い など

多種多様な
研究テーマ！

3年：『キャリアスタートゼミ』
まとめ・論文作成
※文理学科理科でのみ実施

2年：『文理課題研究』
研究活動と成果発表

1年：『セレンディピティ』など
課題研究基礎・PC活用法など



■課題研究って難しそう。できるかどうか不安…。

心配しなくても大丈夫です！ 上でも説明したように、岸高では3年間かけて基礎からていねいに
学んでいきます。これまでに課題研究に取り組んできたみなさんの先輩も、岸高での課題研究がはじ
めての研究活動だった先輩がほとんどで、地道に取り組むことでさまざまな成果をあげています。